

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 5 日

事業名称		なんがい児童館運営費 [なんがい児童館運営事業]																																																															
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童館費	事業番号	4																																																						
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																																
担当部署・課長名	青少年 課 青少年育成 係					課長名	石川 博隆																																																										
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4																																																								
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59																																																								
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																											
	児童館周辺に住む0～18歳未満の乳幼児・児童とその保護者。					市内の0～18歳未満の乳幼児・児童数 (令和3年3月1日現在)																																																											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																											
	①児童館を、児童が遊びや行事を通じて成長できる場にする。 ②乳幼児が安心して遊び、保護者同士の交流・情報交換ができるようにする。					①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児・大人の来館者数(延べ人数) (1)乳幼児 (2)保護者																																																											
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																											
	①児童の居場所の提供。児童向け行事の開催。ランドセル来館の実施。 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流・情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事開催。1歳・2歳児親子サークルの実施。					①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館(日数) ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル/2歳児親子サークル																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度実績</th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度目標</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>13,533</td> <td>13,328</td> <td>13,178</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>①25,070 ②(1)1,623 (2)1,496</td> <td>①25,021 ②(1)1,092 (2)1,050</td> <td>①13,909 ②(1)459 (2)396</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td colspan="6">②の目標値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">目標値設定の考え方 令和2年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>回</td> <td>①(1)40 (2)290 ②(1)30 (2)19/25</td> <td>①(1)34 (2)294 ②(1)27 (2)17/21</td> <td>①(1)7 (2)292 ②(1)14 (2)0/7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	対象指標	①の数値	人	13,533	13,328	13,178			成果指標	②の数値	人	①25,070 ②(1)1,623 (2)1,496	①25,021 ②(1)1,092 (2)1,050	①13,909 ②(1)459 (2)396			目 標	②の目標値								目標値設定の考え方 令和2年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。								活動指標	③の数値	回	①(1)40 (2)290 ②(1)30 (2)19/25	①(1)34 (2)294 ②(1)27 (2)17/21	①(1)7 (2)292 ②(1)14 (2)0/7									
		単位	過去2年間の実績		当該年度			成果目標																																																									
平成30年度実績			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標																																																											
対象指標	①の数値	人	13,533	13,328	13,178																																																												
成果指標	②の数値	人	①25,070 ②(1)1,623 (2)1,496	①25,021 ②(1)1,092 (2)1,050	①13,909 ②(1)459 (2)396																																																												
目 標	②の目標値																																																																
目標値設定の考え方 令和2年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。																																																																	
活動指標	③の数値	回	①(1)40 (2)290 ②(1)30 (2)19/25	①(1)34 (2)294 ②(1)27 (2)17/21	①(1)7 (2)292 ②(1)14 (2)0/7																																																												
事業費(実績)					円	14,197,013	13,740,661	16,046,264	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																								
3 経費	財源	一般財源	円	12,963,013	12,038,961	13,026,044																																																											
		特定財源(国・都・他)	円	1,234,000	1,701,700	3,020,220																																																											
		(うち受益者負担)	円	19,000	16,700	0																																																											
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0																																																											
		所要人数(再任用)	人																																																														
		職員人件費(再任用以外)	円	8,244,000	8,310,000	8,380,000																																																											
	職員人件費(再任用)	円																																																															
事業費+人件費		円	22,441,013	22,050,661	24,426,264																																																												
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和51 年度																																																																
	(2) 環境の変化 通常の児童館運営に加え、学童の待機児童対策の一環として平成20年度からランドセル来館事業を開始し、現在では学童と独立した児童預かり事業として機能している。 また、子育て支援の必要性が高まり、児童のみならず乳幼児とその保護者を対象にした子育て支援事業についても取り組んでいる。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館及び行事の中止があったため、利用者数等が減少した。																																																																

事業名称	なんがい児童館運営費 [なんがい児童館運営事業]				
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係	課長名 石川 博隆

5 市民等 の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・館外での児童のマナーが悪い。 ・来館者数は多く、市民（子育て世帯）のニーズは高い。 ・緊急事態宣言下では行事が開催できなかったが、行事の開催を待ちわびている利用者（特に乳幼児親子）が多かった。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ	取組手法：③事業協力			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 十分な感染症対策等を実施したうえで市民協働の形態について検討するため、コロナ禍における行事の開催方法について検討する必要がある。				
	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 日々の清掃など、業務内容の細部を見直し、業務の効率化を図る。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 館内の備品整理や模様替え等を進め、清掃や掲示等の日常的な作業の効率化を図った。 感染症対策に係る作業（消毒等）についても、作成したチェックリストに基づき行うなど、効率化に努めた。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 乳幼児親子の来館者数が減少している。 日常作業の効率化を引き続き進める。				
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 コロナ禍でも実施できる児童向け行事、乳幼児向け行事の充実や、子育て支援施策の充実など、日常的に来館してもらえるような魅力ある児童館を形成する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 来館者数が減少傾向にある。 行事内容・規模の見直しや、行事以外での乳幼児親子対象施策の充実など、現状をふまえて行事計画を検討する必要がある。 児童館運営体制の安定を図るため、会計年度任用職員を必要数確保する。				